



# 大池中学校だより

学校教育目標 『心豊かでたくましい実践力のある生徒を育てる』【写真は3年生理科授業の様子から】  
【学校教育目標の具現化に向けた4つの重点となる取り組み】

- **確かな学力の定着** < 課題(問題)解決に向けた授業(仕掛け)づくり >
- **こことからだの健全な育成** < 自分のよさに気づき、他者を認める >
- **よりよい未来社会を創造する力の育成** < 夢や志の持てるキャリア教育の推進 >
- **子どもの能力を伸ばす教育と学校づくり**  
・一人一人の子どもの能力を伸ばす教育の実現 < 「ひとづくり」の場としての学校の実現 >  
・学校教育力の向上 < 「組織(チーム学校)」として協働・連携 >



## 令和7年度「大池中学校教育ビジョン」

【学校教育目標の具現化に向けた4つの重点となる取り組みから】

### 確かな学力の定着

〔課題(問題)解決に向けた授業(仕掛け)づくり〕

大池中では、一人一人の子どもたちを大切にしたい4つの取り組みをすすめます。その一つ「確かな学力の定着(わかる・できたと思える授業づくり)」を柱として、今年度から放課後の時間にて『補充学習』がスタート!



【写真は、1年生の「朝の読書の様子から】

落ち着いた朝の読書から集中して取り組んでいます。

4月から子どもたちの落ち着いた学校生活が継続され、1か月であっても、子どもたちの成長を様々な場面で感じることができました。4月から継続できている、8時30分からの「朝の読書」では落ち着いて本を読み、授業等の学習活動には、あたたかい雰囲気の中、落ち着いた学習環境の中で学びをすすめています。このように大池中学校では、

大池中学校では令和7年度の「学校教育ビジョン」においても大切にしている1つの項目に

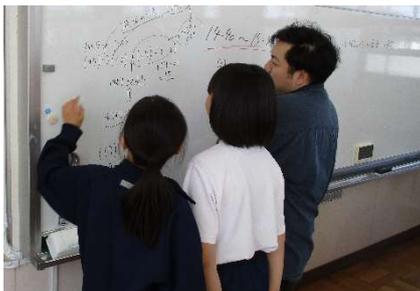
「**確かな学力の定着**」があり、次の4つの具現化した「ねらい」があります。

「**わかる・できたと思える授業づくり**」……具現化した「**ねらい**」

- **言語活動、学び合いのある授業の推進**
- **ICTの効果的・創造的な活用**
- 「トライやる(帰りの10分間学習)」の充実
- **タブレット等を活用した家庭学習の習慣化**

## 大池中学校の取り組み <第1回『補充学習』がはじまりました>

【5月7日(木) 1年生「学年通信 なんでも 笑顔でやってみよう!」から一部抜粋して】



1年生は22名ほどの希望者が7日の「補充学習」に参加しました。それぞれが準備してきた教科の勉強に集中して取り組んでいました。

わからないところを先生や友達に質問したり、あきらめないで粘り強く問題に取り組んだり、わかりやすく友達に教えてあげたり、とても

よい雰囲気での学習する姿がみられました。「わからないところを聞いてよかった」という声がいっぱい聞かれました。是非次回も!

## 【 大池中学校の『 補充学習とは・・・ 』 】

大池中学校教職員の「研修委員会」が企画・準備をし、全学年の先生方が学習のサポートをする補充学習。月に1回程度、部活動を一齐に停止し、希望する生徒が放課後に残って質問をしたり、苦手な部分を勉強したりする時間です。各教科担当がサポートし、生徒一人ひとりの学習の理解を深めることを目的としています。

**生徒の皆さんからの「わからない」という声を大切にはじめる補充学習**をこれからも大切に取り組んでいきたいと思えます。



【左から2枚は3年生補充学習の様子】

【右から2枚は2年生補充学習の様子】

第1回目として実施した「補充学習」には、**3年生43名、2年生23名、1年生22名の合計88名**の生徒が集まってくれました。1年生の学年通信にも記載されている言葉が印象的です。わからないところを先生や友達に質問したり、あきらめないで粘り強く問題に取り組んだり、わかりやすく友達に教えてあげたり、とてもよい雰囲気で学習する姿がみられました。「わからないところを聞いてよかったです」。私(校長)は出張のため、補充学習の様子を応援することができなかつたのですが、どの学年の先生方に子どもたちの取り組む様子をたずねても、同じ感想が返ってきました。それだけ、約50分間の子どもの積極的で一生懸命な取り組みには、とても成果があったのだと感ずることができました。第2回以降もこのような取り組みが継続されることを願っています。そして……

「補充学習」が、『家庭での学習につながる』とさらに効果がアップしていくと思えます。日々の教科授業においての学びが、家庭学習につながり、子どもたちが家庭学習を主体的に、そして積極的に取り組めるようになっていくためにも、大池中学校では「補充学習」を継続します。

第2回目は、「7月2日(水)」です。ただし、部活動の中体連大会が6月28日(土)から始まっているため、練習を実施する部活動もあることをお伝えします。(第3回目9月3日(水)からは、部活動を実施しません)

## 「タブレット等を活用した家庭学習の習慣化」に向けて。

【保護者の皆さまへ】

タブレットの持ち帰りは充電だけが目的ではありません。家庭学習をすすめるにあたって、「ミライシード」を活用する目的をお伝えします。

四日市市では、ICTを活用した学習支援の一環として、学習支援ソフト「ミライシード」を導入しております。学校での授業でも活用していくこともありますが、ご家庭での学習にも活用してもらえなのが「ミライシード」です。この学習支援ソフトでは、お子様一人一人の学習の理解度。到達度に応じた問題が出題され、自分のペースで家庭学習をすすめることができます。

また、学習状況も記録されるため、保護者の皆さまにもお子様の学習状況をご確認いただけるものとなっております。毎日30分でも、1時間でも「ミライシード」に取り組む時間を確保してもらうことによって、家庭学習が習慣化される一助にもなり、学習効果もアップすると考えられます。その他、それぞれに苦手意識のある教科や単元を重点的に取り組むことができます。ぜひ、一度、ご家庭でもご確認していただくとありがたいです。よろしくお願ひいたします。